



▲ヒーロー戦隊などの映像やフィギアを、間近で見ることができます

戦 中田で「スーパー戦隊ストーリー展」 隊ヒーローの軌跡をたどる

石ノ森章太郎ふるさと記念館の開館10周年を記念した、第34回特別企画展「スーパー戦隊ストーリー展」が4月10日にスタートし、大勢の見学者が訪れました。企画展では、石ノ森先生の原作である「秘密戦隊ゴレンジャー」をはじめ、戦隊ヒーローの軌跡をたどる内容となっていて、普段見ることのできない戦隊フィギアの立像やダイジェスト版の映像など、子どもから大人まで楽しめる内容となっています。また、企画展は7月4日まで開催され、期間中はさまざまなイベントが予定されています。

自 石越小学校で「春の交通安全教室」 分の命を自分で守るには

登下校時の交通事故や、家庭での交通事故を未然に防ごうと4月14日、石越小学校で「春の交通安全教室」が開催されました。教室では、全校児童259人が、地元の警察官から道路を横断するときの注意点や自転車の正しい乗り方など、交通事故に遭わないために心掛けることについて、講話や交通安全ビデオを通して学びました。教室の最後には警察官と児童が「道路を歩くときも自転車に乗るときも、交通ルールを守り、大切な自分の命は自分で守る」ことを約束しました。



▲徒歩や自転車ですぐに遭わないための注意点について学びました

地 市消防団南方支団で「辞令交付式」 区を守る新団員が誕生

火災の予防や初期消火を行い、地域を守る消防団員数は少子化や若者の地方離れなどにより、全国的に減少傾向にあります。そのような中、市消防団南方支団では4月1日付けで3人の女性団員を含む9人の新入団員が仲間入りし、4月13日辞令交付式が行われました。新品の活動服で整列した9人は永浦勝男支団長から一人一人辞令を渡され、消防団員としての決意を新たにしていました。南方支団の団員は入団した9人を加え全184人。7つの分団に分かれ、地区住民の安全・安心のために活動しています。



▲今後地区を守る9人の新団員に、永浦支団長から辞令が渡されました



▲約300個の花の苗を配り、交通安全を呼び掛けました

和 東和で交通事故防止「レッド作戦」 やかな気持ちで事故を防止

春の交通安全運動に合わせ、交通事故防止「レッド作戦」が4月6日、東和総合支所前国道346号で行われました。この事業はドライバーに和やかな気持ちで安全運転を心掛けてもらおうと、花の苗を手渡しているもので、事業には交通安全母の会など関係者約50人が参加しました。当日は会員が「安全運転をお願いします」と呼び掛けながら花の苗と交通安全のチラシを通過するドライバーへ手渡すと、受け取ったドライバーは皆「ありがとう。気を付けます」と安全運転を約束していました。

正 豊里小中学校で「交通安全教室道路歩行体験」 しい交通ルールを学ぼう

小中一貫教育を行っている豊里小中学校で、春の交通安全教室道路歩行体験が4月14日に開催され、全校児童生徒556人が参加しました。体験では、1年生と9年生(中学3年)、2年生と8年生(中学2年)というように上級生が下級生と手をつなぎ、校舎を出発した児童生徒は、学校周辺の道路を実際に歩きながら、交通ルールやマナーを学びました。学校前の横断歩道では9年生が1年生に「ちゃんと手を上げて渡ろうね」と声を掛け、道路を安全に横断していました。



▲お兄さんやお姉さんとともに、楽しく交通ルールを学びました

見 登米で「登米じどうかんまつり」 童館の祭りに地域の力

昨年度新しくなった登米児童館の開館1周年を記念して、3月27日「第2回登米じどうかんまつり」が開催され、子どもたちや地域住民など約170人が参加しました。会場では、子どもたちの人形劇や手話、よさこいの披露のほか、米粉のお焼きやおでんなどの出店、手作りコーナーなどが並び、子どもたちは大いに楽しんでいました。また、イベントには食改善ヘルスメイトやジュニアリーダーなど多くの人が参加し、地域をあげてのイベントとして盛り上がりを見せていました。



▲おそろいの衣装を着て、よさこいを披露する子どもたち